

ボランティア委員会通信

発行日：

11月15日(火)

発行者：2学年

第2回にココニココエコキャップ集めへのご協力ありがとうございました。

結果は、以下の通りです。

1A	1B
100%	100%

2A	2B
88%	74%

3A	3B
100%	100%

1学期の結果を受け、ボランティア委員のみな様より、呼びかける期間を1週間から3週間以上に変更してみたことで、全校での協力率が上がりました。協力率が100%のクラスは、**1A・1B・3A・3B**でした。キャップ860個で1人分のワクチンに換えることができ、1人の命を救うことができます。この取り組みは非常に意味があるものだと思います。今後も、キャップをごみ箱に入れてしまう前に、この取り組みを思い出し、貯めておいてほしいです。3学期にもココニココエコキャップ集めを行う予定ですので、よろしく願いいたします。

令和4年赤い羽根共同募金運動
11月16日(水)～11月24日(木)



赤い羽根共同募金は、実は「じがみの町を良くするしくみ」です。

集めた募金のうち、約70%は地域に還元されています。残りの30%は、山梨県内の課題を解決するために使われたり大規模な災害が起こった際の備えとして災害等準備金として積み立てたりしています。

市川中でも、赤い羽根共同募金の「目か成金」をいただいています！

たとえば、ベランダに置いてあるクラスを仕切るフェンス

ベランダのプランターを乗せているアルミ板

エコキャップの大きい回収BOX

などです。

自分たちの環境のため、地域や山梨県を良くするために各クラスでの募金のご協力をお願いします！



ウクライナで苦しむ子どもたちへの 支援のとりくみについて



12月5日(月)~12月13日(火)

2022年2月24日ウクライナはロシア軍による攻撃でたくさんの命が奪われ続けています。いまだ多くの犠牲者が出ていて特に、ウクライナでは学校に行き教育を受けたくても受けることもできず、家や家族を失い、住み慣れた自分の町を離れ、満足にご飯を食べることもできない状況の子どもが大勢います。これは、今、この瞬間、この地球上で起きている話です。

そのような中で、山梨県の児童会・生徒会の会議によって、ウクライナで苦しむ私たちと同世代の子どもたちのために、募金活動に取り組むことが決まりました。「ウクライナ戦争によって避難しなくてはならなくなった子どもたちにユニセフを通して支援金を送る」という県内の小中学校での取り組みとなります。アフリカ救援米、赤い羽根共同募金と、募金活動が続いていますが、今回の取り組みの内容を理解してもらい、ご協力をお願いします。

ボランティア 物品回収

12月5日(月)

~12月13日(火)

◎使用済み七折

周囲を1cmくらい残して七折して、封筒やハカキから剥がさずに持って来て下さい。

◎ベルマーフ

周囲を1cmくらい残して七折して持って来て下さい。

◎手ぬぐい、タオル、綿製の下着、石けんなど

市川ケアセンターに届けるために、未使用品(新品)を持って来て下さい。

山梨南地区の児童会、生徒会で話し合い、今年も地域のために活動していくことが決まりました。おうちの方にも協力してもらい、自宅等に上記の3点がある場合は、ぜひ学校に持って来て下さい。ご協力をお願いします。